

## 実績報告書






静岡県 牧之原市菊川市学校組合立牧之原小学校	実施学年：3年 児童数：38人（2学級） 実施教科等：総合的な学習の時間 実施時間数：31時間
実施／参照プログラム	No.



### ●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 牧之原市のお茶や景観の魅力について気付くことができる。</li> <li>● 自分の暮らす地域と、他地域の自然や景観の違いを知ることができる。</li> <li>● 調べ学習を通して、お茶についての知識を深め、牧之原市に興味をもつことができる。</li> <li>● お茶をPRする上で、人によって考え方や見方に違いがあることに気づくことができる。</li> <li>● お茶をPRする上で必要なことを話し合いながらまとめることができる。</li> <li>● 情報収集能力を身に付け、情報を効果的に伝えていく方法を考えることができる。</li> </ul>
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 牧之原茶をPRするにあたり、写真の撮り方などに工夫を加えながら、様々なお茶の写真を撮ったり、パソコンや本を使い調べ学習を行ったりする。</li> <li>● 撮りためてきた写真を比較し、景観や写真を見る人のことを考えながらポスターに合う写真を友達と話し合いながら決める。</li> <li>● 決まった写真をもとに、ポスターに合うキャッチコピーなどを考え、ポスターを作る。</li> </ul>
準備品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルカメラ（班の数）</li> <li>● iPad（班の数）</li> </ul>
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教室</li> <li>● 地域の茶畑</li> </ul>

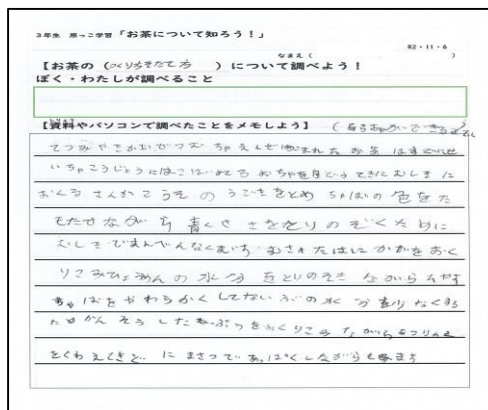
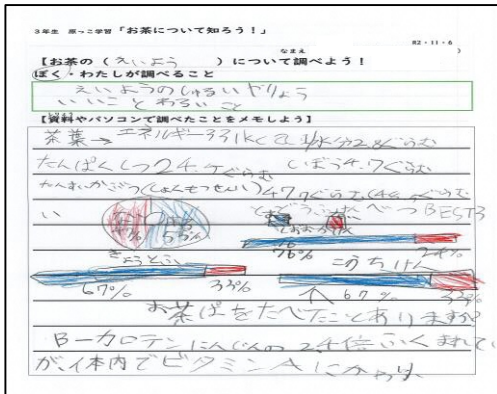
### ●学習の流れ（適宜行を増やしてください）

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 牧之原市のゆるキャラから、牧之原市が「お茶」に力を入れていることや有名であることを再確認する。</li> <li>● お茶が飲まれていない、買われていない現状を伝え、牧之原市のお茶をPRすることを押さえる。</li> </ul>		○ 牧之原茶をもっと買ってもらいたい、知ってもらいたいという思いをもち、PRをしたいという意欲を高めた。
5 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学年でお茶の味や歴史、作り方、栄養などといった諸知識を簡単に押さえ、新たな疑問を考えたり、PRで何を、どのように伝えるのかといった視点をもつことができたりするようにする。</li> </ul>		○ お茶のことについて学習することを通して、自分自身が牧之原茶についてよく知らなかったことに気付くことができた。
2 時間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 他地域の景観を見て、牧之原市のお茶畑の景観との違いに気付く。</li> <li>● 荒れ果てたお茶畑の写真を見て、どんな写真が牧之原市のお茶を引き立てるのかを考える。</li> </ul>		○ 他の地域にも、その土地特有の景観があることに気づいた。
5 時間	校内 地域の お茶畑	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お茶畑の写真を撮りに行く。</li> <li>● お茶の魅力を伝える写真を撮るために、写真の撮り方を学ぶ。</li> <li>● 学んだことを生かして、自分たちのイメージするお茶の魅力を伝えられそうな写真を年間を通して撮りに行く。</li> </ul>	 	○ 写真を撮っては、確認する作業を通して、写真を撮る角度や高さ、背景に写るものなどに気を付けながら撮ることができるようになっていった。 ○ 友達と相談しながら撮る場所などを相談して考えていた。
4 時間	パソコン室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本やインターネットなどを通してお茶の味や作り方、歴史、栄養などお茶についての調べ学習を行う。</li> </ul>		○ インターネットの使い方に苦戦しながらも、自分の調べたいことについて詳しく調べることができた。

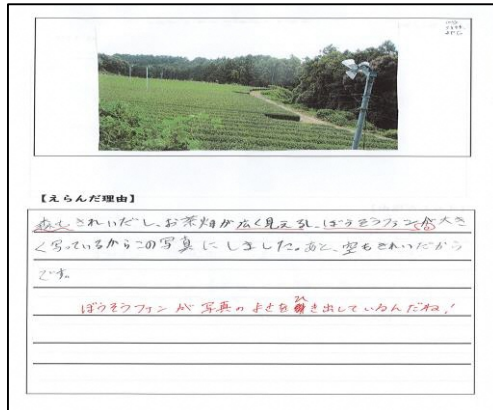
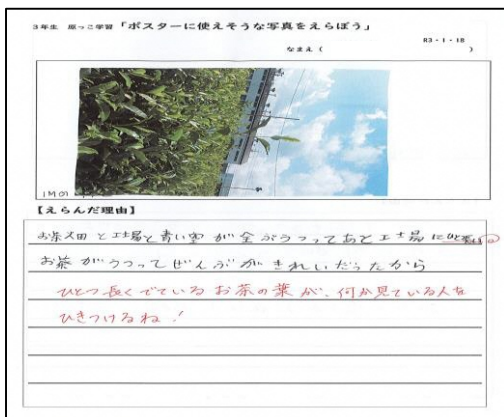
	場所	概要	活動記録	児童の反応
6 時 間	手揉み 保存館	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お茶の手揉み体験やお茶の淹れ方体験、お茶農家さんへの取材を通してお茶についての情報収集を行う。</li> <li>● インターネットや本ではわからなかったことをお茶の手揉み保存会の方へ伺った。</li> </ul>	 	<p>○ お茶の手揉みにはたくさん工程があることに気づき驚いたと共に、先人から受け継がれてきた手揉みを大切にしたいという思いをもつことができた。</p> <p>○ 多くの児童が質問をし、メモ用紙に聞いたことをたくさん書いていた。</p>
2 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● お茶の魅力を誰に、どのように伝えるのかを考える。</li> </ul>		<p>○ 地域の人に伝えるだけで、牧之原茶のPRになるのかと深く考えていた。</p>
3 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国語の「ポスターを読もう」やプロのカメラマンが撮った写真等を参考にし、PRに使うことができる写真や内容を選ぶ視点をもつ。</li> <li>● PRに使うことができる写真や内容が少ない場合には、再度写真を撮りに行ったり、情報収集を行ったりする。</li> <li>● 撮った写真や調べたことを基に、どの写真や内容をPRに使う方がいいのかを話し合う。</li> </ul>	 	<p>○ 自分の選んだ写真を友達に勧める子もいれば、友達の選んだ写真のよさに気づき、友達の写真を選ぶ児童もいた。</p> <p>○ お茶の葉の色や背景などに着目しながら、「これは〇〇がいいね!」「これはもっと〇〇だといいね」といった話し合いをしていた。</p> <p>○ 全国の人向けと地域の人向けに分けて考えていた。</p>
3 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 撮った写真を使って、ポスターをつくる。</li> <li>● ポスターに入れるキャッチコピーを考え、全校のアンケートの下、決める。</li> </ul>		<p>○ キャッチコピーを考えていく中で、4つまで絞ったが、それ以上絞りきれなくなり、「全校のみんなの意見を聞きたい!」という思いからアンケートを行った。</p>

## ●児童の作品

各個人がお茶について調べたいことを決め、まとめました。



今まで撮ってきた写真からポスターに使えるようなものを理由も入れながら2枚選び、まとめました。



## ●先生の声

### 【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 様々な場所でお茶の写真を撮り、比較を繰り返した。それにより、同じお茶でも撮り方や撮る場所、角度、高さなど撮り方ひとつで変えるだけで、変化が生まれるようにした。
- 国語の「ポスターを読もう」の学習を通して、全国の人向けのポスターと地域の人向けのポスターの違いについて考えた。
- コロナウイルスで休校が続いたため、お茶の写真を撮る時期が遅くなってしまった。そのため、色鮮やかなお茶の葉を写真として撮ることが時期として難しかった。
- コロナウイルスの関係で外部との接触が難しかった。

### 【児童の反応】

- 牧之原茶のよさを伝える写真を撮ることに夢中になっていた。撮って確認するたびに、いいところや悪いところを見つけて、次に生かそうとしていた。
- 授業の時以外にも登下校の中で、牧之原茶が美しく撮れそうな場所を探したり、実際に家のカメラ等で撮ったりして確かめる児童もいた。
- 牧之原大茶園の景観について深く考えるようになった。

### 【教師の変化】

- 児童の様子を見ていると自分たちの住んでいる牧之原市や名産である牧之原茶を大事にしていることが学習を通して伝わってきた。児童とお茶の写真を撮り続けていく中で、写真を通して、相手に思いや願いを伝えるには、かなりハードルが高いものがあると感じた。大人であっても難しいことを、児童は必死に取り組んでいて、素敵だなと思った。

